ボグリボース錠 0.2mg・0.3mg「VTRS」を服用される患者さんとご家族の方へ

ボグリボース錠0.2mg「VTRS」

上面　下面　側面

ボグリボース錠0.3mg「VTRS」

上面　下面　側面

食後の過血糖（食後の急激な血糖の上昇）を改善する糖尿病治療薬が処方されています。以下の点に注意してください。

このお薬は食事の直前に飲んでください

このお薬は腸で作用し、食べた物の吸収を遅らせて食後の血糖上昇を抑えます。食べ物より先に腸にたどりつくことを想定していますので、**食事の直前**に飲んでください。飲み忘れたときは、次の食事の直前に1回分を飲んでください。絶対に2回分を1度に飲んではいけません。

低血糖症状を起こすことがあります

- 副作用として低血糖を起こすことがありますので、低血糖症状および対処方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。
- このお薬は砂糖の消化や吸収を遅らせます。ほかの糖尿病治療薬による低血糖症状に効果のある**砂糖**や**アメ玉**は、このお薬の服用中は**不適切**です。**必ずブドウ糖**をとってください。
  この注意は必ずご家族やまわりの方にも知らせておいてください。
- **高所作業や自動車の運転などの危険を伴う機械を操作しているとき**に低血糖症状を起こすと事故につながります。特に注意してください。

低血糖症状について

低血糖症状とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつきなどが起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとったりすることもあります。
はなはだしい場合には、けいれんを起こすことや意識を失うこともあります。

脱力感・異常な空腹感　冷汗・動悸　手足のふるえ　意識を失う　頭痛・頭が重い・めまい

低血糖症状が起こったら

- **進行して危険な状態にならないように、症状が軽いうちにブドウ糖10～15gをとってください。**
- 低血糖症状を起こした場合は、必ず早めに医師または薬剤師に報告してください。

低血糖症状を起こさないために

- 低血糖症状を予防するためには、お薬の量や飲み方は医師または薬剤師の指導を守り、また食事療法・運動療法もきちんと守ることが大切です。
- 食事時刻の遅れ、激しい運動、空腹時の運動は避けるようにしましょう。

この他にも気になる症状があらわれた場合には、医師または薬剤師にご相談ください。

VIATRIS ヴィアトリス製薬株式会社

つたわるフォント 読みやすさを追求した書体

2022年6月作成　NBZ57M013A